

# 平成30年度事業報告書

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

## 1. 会務報告

### (1) 評議員会

定時（第86回）評議員会（平成29年度事業報告・収支決算報告・決算監査報告、定款変更、役員選任）

平成30年 6月23日 江差町老人福祉センター

第87回評議員会（平成30年度補正予算、平成31年度事業計画・予算）

平成31年 3月23日 江差町老人福祉センター

### (2) 理事会

第1回 平成30年 5月22日 江差町老人福祉センター

第2回 平成30年 6月 8日 江差町老人福祉センター

第3回 平成30年10月26日 江差町老人福祉センター

第4回 平成31年 3月 5日 江差町老人福祉センター

第5回 平成31年 3月20日 江差町老人福祉センター

### (3) 監事会

第1回 平成30年 5月30日 江差町老人福祉センター

第2回 平成30年 9月10日 江差町老人福祉センター

第3回 平成31年 1月30日 江差町老人福祉センター

第4回 平成31年 3月13日 江差町老人福祉センター

### (4) 地域福祉実践計画策定委員会

開催なし

### (5) 江差町成年後見支援センター運営協議会

第1回 平成30年10月31日 江差町老人福祉センター

第2回 平成31年 3月22日 江差町老人福祉センター

## 2. 介護保険・障がい者自立支援事業所の活動

介護保険制度事業所を3事業3事業所〔居宅介護支援事業（えさし社協居宅介護支援事業所）・訪問介護事業（えさし社協ヘルパーステーション）・通所介護事業（えさし社協デイサービス「まるやま」）〕、障害者自立支援事業所を1事業1事業所（訪問介護事業所併設）とし、介護認定者、障がい者への在宅サービスを提供いたしました。

サービスを提供するにあたっては、地域福祉を推進する立場を堅守し、いたずらに営利を追及するのではなく、地域に根ざした社協としてこれまで培ってきた経験を生かし、利用者の「在宅で自立した生活を続けたい」との気持ちを大切に、事業所間の連携を密にしたサービスの提供に努めてまいりましたが、在宅生活から施設生活を選択される方も多く、また、度重なる制度改正や報酬改定に伴い極めて厳しい経営環境に置かれ、従来から進めてきた介護保険事業等により自主財源を確保しての社協経営は非常に厳しい状況となっています。

また、非常勤（パート）介護職員の確保についても難しく、募集（ハローワーク、新聞折り込みチラシ）を出しても全く問合せがなかったり、問合せだけで就業に結びつかなかったりする状況が続いています。

### (1) 居宅介護支援事業所 えさし社協居宅介護支援事業所

ケアマネジャー4名

車輛3台（普通車2台・軽自動車1台）

利用者の福祉ニーズの把握、地域、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携を図りながら、個別の生活支援サービス体制を図るため、ご本人の意思を尊重した介護計画（ケアプラン）を作成しながら、ご本人やそのご家族に対し情報の提供や相談にも迅速に対応し、また、要支援認定者・総合事業の予防介護計画作成に積極的に取り組んでまいりました。

受け皿となる訪問介護事業所では、ヘルパーの慢性的な不足によりサービス提供に結びつかないケースも多く、通所介護事業所では利用の伸び悩みが深刻化しています。

## 要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成28年度末		平成29年度末		平成30年度末	
要支援・総合事業	39	38.6%	43	37.4%	46	38.3%
要介護1	19	18.8%	22	19.1%	35	29.2%
要介護2	20	19.8%	26	22.6%	27	22.5%
要介護3	15	14.8%	16	13.9%	5	4.2%
要介護4	5	5.0%	4	3.5%	2	1.7%
要介護5	3	3.0%	4	3.5%	5	4.1%
合 計	101	100.0%	115	100.0%	120	100.0%

## 要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成29年度		平成30年度		平成30年度－平成29年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	493	41.1	522	43.5	29	2.4
要介護1	224	18.7	373	31.1	149	12.4
要介護2	278	23.2	306	25.5	28	2.3
要介護3	184	15.3	129	10.7	△55	△4.6
要介護4	46	3.8	50	4.2	4	0.4
要介護5	42	3.5	45	3.7	3	0.2
合 計	1,267	105.6	1,425	118.7	158	13.1

(2) 訪問介護事業所・障害者居宅介護事業所 えさし社協ヘルパーステーション ヘルパー5名  
車輛5台（軽自動車3台・普通車2台）

訪問介護事業所では、2つの制度事業を担い、長年培ってきたノウハウを活かしながら営利を追求するだけの過剰なサービスの提供を控え、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携しながら、在宅で自立した生活を送るためのサービスの充実を図りながら提供に努めてまいりましたが、パート職員確保が難しく利用は落ち込んでいます。

## 介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別利用者数の推移 (単位：人)

要介護度別	平成28年度末		平成29年度末		平成30年度末	
要支援・総合事業	16	41.0%	16	42.1%	13	32.5%
要介護1	7	18.0%	6	15.8%	11	27.5%
要介護2	7	18.0%	6	15.8%	10	25.0%
要介護3	8	20.5%	7	18.4%	1	2.5%
要介護4	0	0.0%	1	2.6%	2	5.0%
要介護5	1	2.5%	2	5.3%	3	7.5%
合 計	39	100.0%	38	100.0%	40	100.0%
障害者居宅介護	4	-	7	-	5	-
自立認定者訪問介護	1	-	1	-	1	-
総 計	45	-	46	-	46	-

## 介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成29年度		平成30年度		平成30年度－平成29年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	181	15.1	176	14.7	△5	△0.4
要介護1	625	52.1	815	67.9	190	15.8
要介護2	1,298	108.2	1,210	100.8	△88	△7.4
要介護3	1,072	89.3	1,003	83.6	△69	△5.7
要介護4	69	5.7	59	4.9	△10	△0.8

要介護5	62	5.2	46	3.8	△16	△1.4
合計	3,307	275.6	3,309	275.7	2	0.1
障がい者居宅介護	1,086	90.5	1,141	95.1	55	4.6
自立認定者訪問介護	49	4.1	50	4.2	1	0.1
総計	4,442	370.2	4,500	375.0	58	4.8

介護保険事業サービス種類別提供回数の推移

(単位:回)

サービス種類別	平成29年度		平成30年度		平成30年度－平成29年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	1,601	133.4	1,308	109.0	△293	△24.4
生活援助	1,135	94.6	1,373	114.4	238	19.8
身体・生活	38	3.2	57	4.7	19	1.5
通院等乗降介助	352	29.3	395	32.9	43	3.6
要支援・総合事業	181	15.1	176	14.7	△5	△0.4
合計	3,307	275.6	3,309	275.7	2	0.1

障がい者自立支援サービス種類別提供回数の推移

(単位:回)

要介護度別	平成28年度		平成29年度		平成29年度－平成28年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身体介護	171	14.3	109	9.1	△62	△5.2
通院介助(身体介護併用)	82	6.8	29	2.4	△53	△53.0
通院介助(身体介護併用ない)	355	29.6	774	64.5	419	34.9
家事援助	226	18.8	174	14.5	△52	△4.3
合計	834	69.5	1,086	90.5	252	21.0

(3) 通所介護事業所

えさし社協デイサービス「まるやま」 在宅型総合福祉施設「まるやま」内開設

利用定員 35名 小型バス1台(リフト付) ワゴン車3台(リフト付)

デイサービス利用者のみならず、同居介護者の負担軽減も考え合わせながら過剰なサービスを避け、利用者の自立する意欲を奪うことのないよう配慮しながらサービスの提供に努めてまいりました。

本事業では、体調などにより突発的に休まれる利用者、介護者の負担軽減のための短期施設入所(ショートステイ)の利用も多く、安定した利用者確保が大きな課題となると同時に、本年度はインフルエンザにより大きく利用が落ちた期間があり、また、サービス利用をはじめても直ぐに施設入所へつながらるケースも多く利用は落ち込んでいます。利用者数の減に伴い、施設や設備の利用方法見直しによる更なる経費の削減や事業展開についての検討が必要となっております。

要介護度別利用者数の推移

(単位:人)

要介護度別	平成28年度末		平成29年度末		平成30年度末	
要支援・総合事業	25	30.1%	23	28.1%	21	25.9%
要介護1	17	20.5%	22	26.8%	27	33.3%
要介護2	21	25.3%	22	26.8%	22	27.2%
要介護3	15	18.1%	10	12.2%	6	7.4%
要介護4	3	3.6%	2	2.4%	—	—
要介護5	2	2.4%	3	3.7%	5	6.2%
合計	83	100.0%	82	100.0%	81	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位:回)

要介護度別	平成29年度		平成30年度		平成30年度－平成29年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援・総合事業	326	27.2	257	21.4	△69	△5.8

要介護1	1,377	114.8	1,780	148.3	403	33.5
要介護2	2,015	167.9	1,982	165.2	△33	△2.7
要介護3	1,371	114.3	795	66.2	△576	△48.1
要介護4	200	16.6	72	6.0	△128	△10.6
要介護5	254	21.1	433	36.1	179	15.0
合 計	5,543	461.9	5,319	443.2	△224	△18.7

### 3. 福祉移送サービス（通院等外出支援）

介護認定者や障がいを抱える方の通院。身体の状態により自宅のお風呂を利用できない方のための施設（在宅型総合福祉施設「まるやま」・老人福祉センター）特殊浴槽を利用しての入浴のための送迎等について、車椅子をご利用の方や認知症、障がい等により行動が困難な方々を中心にサービスに務めました。

平成30年度移送実績（福祉有償運送）

（単位：回）

移 送 内 容	平成29年度	平成30年度	平成29年度－平成28年度
病院受診のための移送	772	894	122
施設を利用しての入浴のための移送	263	189	△74
入退院のための移送	—	—	—
転院のための移送	—	—	—
その他（買い物等のための移送）	2	11	9
合 計	1,037	1,094	57

### 4. 福祉・ボランティア団体等への活動支援

町内で様々な活動が続ける福祉・ボランティア団体の活性化を図ることを目的に、指定団体への運営費について助成し支援いたしました。

計 画 6団体 江差町遺族会、江差町身体障がい者福祉協会、江差地区保護司会江差支部、江差町子どもと父母の会連合会、江差手話の会、育児サポートサークル「キティ」

助成額 1団体2万円以内 総額12万円以内

実 績 上記6団体

助成額 1団体2万円 総額12万円

助 成 団 体 名	活 動 の 目 的
江差町身体障がい者福祉協会	身体障がい者の福祉向上を目指す当事者団体活動
江差町遺族会	戦没遺族の会
江差町子どもと父母の会連合会	町内の子ども会活動の連携と親睦、連絡調整
育児サポートサークル「キティ」	子育て中の親子の支援と孤立防止
江差地区保護司会江差支部	犯罪者更正の援助
江差手話の会	手話の普及

財 源 愛情銀行：39,808円、共同募金配分金80,192円

### 5. 学校教育ボランティア活動等への支援

学校教育の場で行われるボランティア活動や地域とのふれあい活動に対し助成を行うことで支援しました。本年度の助成は3校となっております。

計 画 対象学校数 小学校3校、中学校2校、高校1校、高等看護学院1校 計7校

助 成 額 1校2万円以内、総額8万円以内（4校以内）

実 績 助 成 額 江差中学校19,808円

助 成 学 校 名	活 動 の 目 的
江差中学校	ボランティア・福祉活動に供するための書籍・物品購入費用への補填
	エコキャップ収集用ボックス、花壇整備用小型スコップ、バケツ等購入

財 源 共同募金：19,808円

#### 6. ふれあいいきいきサロン推進事業

独自財源により活動を継続する「かあちゃん食堂たまりば」について、江差町内でのふれあいいきいきサロンのモデルとして運営費支援を図りました。

計 画	助 成 額	5万円
実 績	助 成	5万円
財 源	愛 情 銀 行	5万円

#### 7. 江差町ボランティアセンターの活動について

本年度は、ボランティアセンターの広報や研修会の開催、ボランティア団体・個人の登録を進めました。

◎広 報    ○福祉だより    平成30年12月、平成31年1月

○ホームページ

◎研 修    ○視察研修

開催月日    平成30年8月23日

参加者    20名

視察研修場所    ・なごやかサロンすまいる：せたな町北檜山（旧さくま旅館）  
運営：シニア福祉サポートせたなネット 代表 道高 勉 氏  
・瀬棚ボランティアセンター：せたな町瀬棚区  
運営：せたな町社会福祉協議会 会長 内田 親秀 氏

○平成30年度ボランティア活動研修会

開催月日    平成31年3月7日

参加者    25名

研修場所    江差町老人福祉センター 大広間

講義・演習    ・講義 北海道胆振東部地震発生時の対応状況について  
講師 江差町役場総務課防災生活係 係長 坂口 智幸 氏  
・演習 避難所運営ゲーム（HUG）を用いた机上模擬訓練  
講師 日本赤十字社檜山地区 事務委員 佐々木 雅康 氏

◎団体・個人登録    ○団体登録    5団体    江差手話の会、育児サポートサークル「キティ」、かあちゃん食堂たまりば、絵本サークルポポリン、江差観光ガイド協会

○個人登録    1名

#### 8. 福祉サービス利用者の権利擁護

##### （1）苦情解決窓口の設置について

本会の行う在宅福祉サービス事業（介護保険・障がい者自立支援事業など）に係る利用者の苦情に適切に対応し、利用者の権利を守り、満足度を高めるため、第三者委員2名、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者2名を選任し苦情に速やかに対応する体制を整えております。

平成30年度はサービス利用者やその家族から事業所に対する苦情申立てはありませんでした。

##### （2）地域権利擁護事業・成年後見制度の推進について

###### ① 日常生活自立支援事業    北海道社会福祉協議会委託事業

平成29年度より、北海道社会福祉協議会より委託を受け本会で事業を進めています。

利用者数は横ばいとなっていますが、事業が地域に周知されつつあると考えられることから生活支援員の増員が望まれ、社協として適任者の確保を求められています。

平成30年度利用者数    13名

平成30年度末「生活支援員」登録者14名（うち実稼働12名）

利用者の内訳    認知症高齢者 9名、知的障がい者 1名、精神障がい者 3名

## ② 成年後見制度の推進について

江差町より平成29年度権利擁護人材支援体制構築事業（期間：平成29年10月1日～平成30年3月）を受託し、当地における成年後見制度支援（成年後見制度の周知、広報、啓発や後見制度に関する相談、利用手続き支援、市民後見人の育成、後見活動支援等を行う）の必要性についての検討結果を踏まえ、平成30年7月1日、江差町より「江差町成年後見支援センター」を受託（単年度毎の委託事業）、江差町成年後見支援センター事業実施要綱に基づき運営協議会を設置、活動を始め、パンフレット作製・配付、福祉だよりによる広報、また、研修会等での説明・講義及び相談対応を進めました。

◎各種要綱等作成 ○江差町成年後見支援センター運営協議会設置要綱  
○社会福祉法人江差町社会福祉協議会法人後見事業運営要綱  
○市民後見人の登録に関する取扱い基準  
○パンフレット作製

◎運営協議会開催 ○2回 平成30年10月、平成31年3月

◎説明・講義等 ○4回 認知症カフェ 講師：田上 平成30年 7月  
定例民生委員児童委員協議会 講師：田上 平成30年10月  
江差町町内会研修大会 講師：田上 平成30年12月  
障がい者地域自立支援協議会 講師：田上 平成31年 1月

◎広報等 ○パンフレット配付 家庭裁判所他関係機関・団体等10か所  
○社協福祉だより掲載 平成30年9月、12月、平成31年3月掲載

◎相談等 ○19回

◎市民後見人関係 ○市民後見人フォローアップ研修開催 平成30年11月  
開催場所 江差町老人福祉センター大広間  
講義 1) 成年後見制度の振り返り  
2) 法人後見（市民後見人）受任事例  
演習 市民後見人検定2級問題及び解答解説  
講師 NPO 法人旭川こうげん人  
理事長 山辺 恵子 氏  
説明 江差町成年後見支援センターの役割について  
説明 江差町社会福祉協議会  
福祉活動専門員 田上 香

◎研修会等参加 ○権利擁護人材養成市町村セミナー 平成30年 7月  
○平成30年度成年後セミナー 平成30年 9月  
○平成30年度法テラス函館地方協議会 平成30年11月  
○成年後見利用促進シンポジウム 平成30年11月  
○成年後見センター等担当職員研修 平成31年 2月

## 9. 福祉情報の提供と相談

### （1）情報の提供

広報誌「福祉だより」をはじめホームページを活用し、福祉関係事業の情報提供や案内、学校に対しての情報提供等に努めてまいりました。

- ① 福祉だより 年3回発行：江差町広報紙折り込み
- ② 学校への情報提供 赤い羽根共同募金活動チラシ・ポスター

(2) 心配ごと相談

日常的に介護保険事業などの制度事業に関することや生活応急資金などの制度資金に関する相談があり職員が対応してまいりました。

相談件数 ○介護保険事業等に関すること（日常的にあるため件数は把握していない）

○経済的な相談に関すること 8件（内、生活応急資金6件）

10. 江差町愛情銀行（在宅福祉基金）・共同募金活動の推進

町民皆様より愛情銀行や共同募金活動について金品の協力を頂きました。

また、この一部を財源として生活応急資金、助成金、物品の購入等に活用いたしました。

(1) 江差町愛情銀行

本年度預託金	693,196円	.....①
内、指定預託	603,196円	(25件)
内、一般預託	90,000円	(3件)
本年度払出金	830,776円	.....②
内、指定預託払出し	147,066円	(7件) 平成30年7月豪雨災害義援金
内、指定預託払出し	476,130円	(20件) 平成30年北海道胆振東部地震災害義援金
※災害義援金には愛情銀行からの拠出含む		
内、社協助成事業	50,000円	(1件) ふれあいいきいきサロン推進事業等
内、社協助成事業	39,808円	(2件) 福祉・ボランティア団体等への活動支援事業
内、災害義援金募集関係	12,798円	(2件) 募集チラシ、新聞チラシ折込
内、歳末たすけあい托鉢関係	20,520円	(1件) 広報用チラシ、バス借り上げ
内、エコキャップ関係	43,092円	(1件) 配送運賃(段ボール57箱)
内、使用済み切手関係	1,170円	(1件) 送料
内、弔意ローソク	21,600円	(1件)
内、愛情銀行領収書	14,040円	(1件)
内、その他	4,552円	(3件) 車イス用空気入れ、ガムテープ、振込手数料等
預金利息	12円	.....③
前年度繰越金	1,229,507円	.....④
生活応急資金貸付	115,000円	.....⑤ 6件
生活応急資金償還	80,000円	.....⑥
内部会計間未払金	20,000円	.....⑦
翌年度繰越金	1,076,939円	(④+①+③-②-⑤+⑥+⑦)
預託物品	本年度預託 使用済み切手、リングプル、エコキャップ、リサイクル用衣料等94件 (1物品につき1件の換算)	
本年度払出	同上94件	

(2) 江差町愛情銀行（在宅福祉基金） 曹洞宗第4教区青年会 歳末托鉢による預託

実施日	平成30年12月17日(第39回)	
本年度預託金	297,352円	.....①
本年度払出金	0円	.....②
預金利息	12円	.....③
前年度繰越金	1,351,210円	.....④
翌年度繰越金	1,648,574円	(④+①+③-②)

(3) 共同募金活動

運動期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日

広 報 福祉だより、ポスター掲示

街頭募金 1回 9月30日(日) 第40回江差町産業祭り(開陽丸青少年センター)

1回 10月 5日(金) 江差北小・中学校児童会・生徒会(フードセンターブンテン前)

※上記活動についての集計は学校募金とする。

募 金 総 額 924,499円（平成29年度実績：917,020円）

前年度比 7,479円：100.8%

募金活動方法別内訳

戸 別	募 金	訪 問	453,450円（869世帯）
		町内会	206,900円（12町内会：1,069世帯）
法 人	募 金	70件	69,800円
街 頭	募 金	1件	13,167円
学 校	募 金	7校	67,404円
職 域	募 金	25件	31,469円
募金箱設置協力店・団体		64件	81,902円
興 業	募 金	1件	407円（道町連道南ブロック大会）

# 1 1. 生活応急資金・生活福祉資金等の貸付

## (1) 生活応急資金

本会独自の貸付制度として、江差町に居住し、独立の生計を営み、他から資金融資を受けることが困難で、緊急な出費により生活困窮に陥る恐れのある生活保護世帯や生活保護申請世帯に対し、費用受給までの生活を維持するための資金として貸付を行いました。

平成30年度貸付 件数 6件 貸付総額 115,000円

財 源 本会「愛情銀行」

## (2) 生活福祉資金（北海道社会福祉協議会事業）

厚生労働省の要綱に基づき他の貸付制度が利用できない低所得者や障がい者・高齢者世帯の経済的と自立と生活の安定を目指すための貸付制度として、本会では道社協より事務委託を受けその窓口として相談や申込について協力しております。

本年度の相談、取扱いはありませんでした。

## (3) 特別生活資金（冬期生活資金：北海道社会福祉協議会事業）

高齢者や障がい者などの福祉向上を図るため、冬期の燃料費を確保する資金を必要とする世帯に対しての道社協の貸付制度の窓口として相談や申込について協力してまいりましたが、本年度の相談、取扱いはありませんでした。

# 1 2. 各種団体の活動

江差町町内会連合会、江差町老人クラブ連合会、江差町高齢者事業団、江差町共同募金会の4団体について、専任職員1名を中心に事務・活動支援を図りました。

# 1 3. 社協の基盤整備

## (1) 賛助会員・賛助会費

地域福祉推進の財源として各助成事業や情報提供に活用している賛助会費について、協力員体制がままならないことから地域内でも訪問出来ないところが増え、不公平感や不信感などがあることから戸別に訪問しての集金は行わないこととし、広報紙による広報活動を行いました。地域からの理解を得られたとは言えないものとなっています。

### 賛助会員・賛助会費の推移

年 度	賛 助 会 員		賛 助 会 費	
	会 員 数	前年度比	会 費 額	前 年 度 比
平成30年度	9件	△2件	28,000円	△48,000円
平成29年度	11件	△8件	76,000円	△16,200円
平成28年度	19件	1件	92,200円	53,200円



平成27年度	18件	—	39,000円	—
平成11年度	1,287件	—	1,615,500円	—

## (2) 設備整備等

介護保険事業所の収入をもって、事業活動が滞ることのないよう、設備整備・車両修繕等に努めました。

### 14. 第5期江差町地域福祉実践計画の活動

本年度は、「江差町地域福祉実践計画の平成30年度の主たる活動」に基づき、権利擁護事業（日常生活自立支援事業、成年後見制度）やボランティアセンターの活動推進などに努めました。

令和元（平成31）年度が計画の折り返し年度となることから、進行状況の確認、反省、計画の修正等について地域福祉計画策定委員会により協議いたします。

計画の期間 平成29年度月～令和3（平成33）年度（5年間）

### 15. 役職員研修並びに会議等への参加

本会活動の推進ため役職員の研修を進めてまいりました。また、ここに記載する以外にも各種関係会議・研修会等への出席に努めました。（団体別）

#### ◎江差町関係

①春の交通安全祈願式・街頭啓発	役職員	2名	江差町	平成30年	4月
②江差町障がい者地域自立支援協議会第1回	職員	1名	江差町	平成30年	4月
③江差町交通安全運動推進協議会総会	職員	1名	江差町	平成30年	5月
④平成30年度第1回医療介護連絡会	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑤平成30年度地域支え合い協議体会議第1回	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑥町の国民健康保険事業の運営に関する協議会第1回	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑦平成30年度地域支え合い協議体会議第2回	職員	1名	江差町	平成30年	7月
⑧認知症カフェ平成30年度第1回 講師：田上	職員	1名	江差町	平成30年	7月
⑨平成30年度第1回江差町地域包括支援センター運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	7月
⑩平成30年度飲酒運転根絶挙キャラバン	職員	1名	江差町	平成30年	8月
⑪平成30年度地域支え合い協議体会議第3回	職員	1名	江差町	平成30年	8月
⑫江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成30年	8月
⑬江差町障がい者地域自立支援協議会第1回	職員	1名	江差町	平成30年	8月
⑭秋の全国交通安全運動に伴う一斉街頭啓発	職員	1名	江差町	平成30年	9月
⑮江差町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成30年	9月
⑯平成30年度第3回医療介護連携会議	職員	2名	江差町	平成30年	9月
⑰江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成30年	9月
⑱平成30年度地域支え合い協議体会議第4回	職員	1名	江差町	平成30年	10月
⑲江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成30年	10月
⑳まちづくりカフェ	職員	1名	江差町	平成30年	11月
㉑江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成30年	11月
㉒江差町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成30年	11月
㉓平成30年度第2回江差町地域包括支援センター運営協議会	職員	1名	江差町	平成30年	11月
㉔平成30年度地域支え合い協議体会議第5回	職員	1名	江差町	平成30年	12月
㉕江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成30年	12月
㉖江差町障がい者地域自立支援協議会第2回 講師：田上	職員	1名	江差町	平成31年	1月
㉗江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成31年	1月
㉘町の国民健康保険事業の運営に関する協議会第2回	職員	1名	江差町	平成31年	1月
㉙江差町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成31年	1月
㉚平成30年度地域支え合い協議体会議第6回	職員	1名	江差町	平成31年	1月
㉛江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成31年	2月

③江差町地域公共交通会議	職員	1名	江差町	平成31年	2月
③平成30年度江差町高齢者見守り支え合いチーム代表者会議	職員	1名	江差町	平成31年	3月
③平成30年度第2回江差町地域福祉計画策定委員会	職員	1名	江差町	平成31年	3月
⑤江差町・上ノ国町・奥尻町障害支援区分認定審査会	職員	1名	江差町	平成31年	3月
◎北海道（檜山振興局）関係					
①平成30年度市町村審査会委員研修	職員	1名	江差町	平成30年	6月
②介護保険・障害サービス実地指導 訪問・通所介護	職員	1名	江差町	平成30年	7月
③平成30年度介護保険、障がいサービス事業所等集団指導	職員	8名	江差町	平成30年	9月
④平成30年度Doはぐ講師養成研修	職員	1名	函館市	平成30年	11月
⑤南檜山自殺対策会議	職員	1名	江差町	平成30年	12月
⑥生活保護者訪問介護対象者個別指導	職員	3名	江差町	平成31年	2月
⑦地域防災フォーラム in 江差	職員	3名	江差町	平成31年	3月
◎北海道社会福祉協議会（檜山地区事務所）関係					
①檜山地方共同募金委員会平成29年度会計監査	職員	1名	江差町	平成30年	4月
②檜山地区社協連絡協議会平成29年度会計監査	職員	1名	江差町	平成30年	4月
③檜山管内ボランティア連絡協議会平成29年度会計監査	職員	1名	江差町	平成30年	4月
④檜山管内ボランティア連絡協議会総会	職員	1名	江差町	平成30年	5月
⑤平成30年度第1回檜山管内社協会長・事務局長会議	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑥平成30年度第1回檜山地区社協連絡協議会役員会	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑦平成30年度檜山地域共同募金委員会理事会	職員	1名	江差町	平成30年	6月
⑧檜山地区社協職員連絡協議会立ち上げ検討会	職員	1名	江差町	平成30年	7月
⑨平成30年度共同募金委員会関係者研究協議会	職員	1名	江差町	平成30年	7月
⑩平成30年度ボランティア活動研究集会	職員	2名	乙部町	平成30年	10月
⑪平成30年度檜山地方共同募金委員会研修会	職員	1名	上ノ国町	平成30年	10月
⑫自立生活支援専門員・生活支援員研修会	職員	1名	乙部町	平成30年	10月
⑬平成30年度檜山地区ボランティア組織連携会議	職員	1名	江差町	平成30年	11月
⑭檜山管内社協巡回支援訪問	職員	1名	江差町	平成30年	12月
⑮平成30年度成年後見等職員研修	職員	1名	札幌市	平成31年	2月
⑰平成30年度檜山地区地域に理解される社協づくり研修会	役職員	2名	江差町	平成31年	2月
⑱平成30年度第2回檜山管内社協会長・事務局長会議	役職員	2名	江差町	平成31年	3月
⑲平成30年度第2回檜山地区社協連絡協議会役員会	役職員	2名	江差町	平成31年	3月
◎江差町町内会連合会関係					
①平成30年度第45回通常総会	役職員	3名	江差町	平成30年	4月
②平成30年度会員交流パークゴルフ大会	職員	2名	江差町	平成30年	6月
③平成30年度ブロック別町内会活動研究大会	職員	3名	江差町	平成30年	10月
④平成30年度第27回江差町町内会研修大会 講師：田上	職員	3名	江差町	平成30年	12月
◎江差町老人クラブ連合会関係					
①平成30年度第48回総会	職員	3名	江差町	平成30年	4月
②平成30年度第45回江差町老人スポーツ大会・演芸大会	職員	4名	江差町	平成30年	6月
◎江差町民生委員・児童委員協議会関係					
①平成30年度総会	職員	2名	江差町	平成30年	5月
②定例民協 俱知安町民協との交流及び研修	職員	2名	江差町	平成30年	7月
③定例民協 江差町成年後見支援センターの研修 講師：田上	職員	2名	江差町	平成30年	10月
④平成30年度檜山管内民生委員児童委員専門研修	職員	2名	江差町	平成30年	11月
⑤定例民協 江差小学校訪問	職員	2名	江差町	平成30年	12月
◎法テラス函館地方事務所関係					
①平成30年度法テラス函館地方協議会（江差ブロック）	職員	2名	江差町	平成30年	11月
②法テラス弁護士（3名）との成年後見制度に関する意見交換会	職員	2名	江差町	平成31年	3月
◎リーガルサポート札幌支部関係					
①成年後見利用促進シンポジウム	職員	1名	札幌市	平成30年	11月
◎函館方面江差警察署関係					

①安全運転管理者講習	職員	1名	北斗市	平成30年	9月
②南檜山地域交通安全運動総決起大会	役職員	2名	乙部町	平成30年	10月
③歳末特別警戒出動式及び街頭パレード	職員	3名	江差町	平成30年	12月
◎江差町身体障害者福祉協会関係					
①第46回檜山管内身体障害者スポーツ大会及び会長表彰式	職員	1名	江差町	平成30年	7月
◎あゆみ共同作業所関係					
①平成29年度会計等監査	職員	2名	江差町	平成30年	4月
②平成30年度総会	職員	2名	江差町	平成30年	5月
◎江差地域訪問看護ステーション関係					
①平成30年度運営委員会	職員	1名	江差町	平成30年	7月
◎江差中学校区青少年健全育成推進会関係					
①平成30年度総会	職員	1名	江差町	平成30年	5月
②平成30年度第1回役員会	職員	1名	江差町	平成30年	9月
③平成30年度第2回役員会	職員	1名	江差町	平成30年	11月
④平成30年度第3回役員会	職員	1名	江差町	平成31年	2月
◎江差地域訪問看護ステーション関係					
①平成30年度運営委員会	職員	1名	江差町	平成30年	7月

## 16. その他

### (1) 福祉機器・テントの貸し出し

車イス、簡易折り畳み式ベッドを一時的に必要な方に貸し出してまいりました。また、共同募金配分金を受けながら整備した行事用テントを江差町、商工会、団体等に貸し出しました。

### (2) 弔意ローソクの配布

江差町民で亡くなられた方への弔意を表すため、江差町役場窓口に置き配布していただきました。

### (3) 収集活動の推進

使用済切手やリングブル等の収集について周知を図り、関係団体の協力を努めました。

回収品目	協力先団体名	
使用済切手	社団法人日本キリスト教海外医療協力会	発展途上国への医療協力
リングブル	かあちゃん食堂たまりば	福祉団体等への車イス寄贈
リサイクル用衣料品等	NPO 法人南部檜山あゆみ共同作業所	ウエス加工
エコキャップ	NPO 法人エコキャップ推進協会	世界の子供へワクチン寄贈
ベルマーク	江差小学校・南が丘小学校	学校備品等整備

※ 使用済プリペイドカードについては、収集体が確認できなくなったため中止としています。